

松本市広報R6-20

●問い合わせ 中央公民館
TEL 32-1132 FAX 37-1153

●編集 公民館報編集委員会

●印刷 株式会社ブライト

公民館報 まつもと

発行
2025

1/30



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 71

道祖神まわり

三九郎の朝、町内を訪ねてお札を配る
伝統の行事を子どもたちがつなぐ

(撮影 2025.1.12 芳川小屋)

ここが変わった
国宝旧開智学校

3年半を費やした耐震および防災設備工事を終え、旧開智学校が昨年11月に再オープン。

昭和39年に現在地へ移築後約60年で、今回のような長期の休館は初めてのことでした。耐震や防災設備のみならず、夜間や休館日の常駐警備も始まり、安心安全が一層強化されました。外見的にはほとんど変化がない中、新たな発見もありました。

改修からの発見

中央のらせん階段を支える丸柱や、廊下にある棧戸さんからどには、当時の廃寺からの転用材が使用されています。今回の改修で、それまで隠れていた壁の内側や、床下部分の転用材を改めて確認できました。



壁から現れた穴あきの転用柱
写真提供 旧開智学校

これにより、転用材が使われている場所や柱の特徴など、さらに調査を進める機会となりました。



にぎわう開智通り歩行者天国
©nami maruyama

地域との連携で発見

鷹匠町にある複合施設「タカノバ」周辺で記念イベント「国宝の架け橋リビング」が開催されました。キッチンカーやマルシェ、ワークショップや演奏会など、大いににぎわいました。

長期の休館からの再開は不安もありました。しかし、今回のイベントの成功により、開智小学校や中央図書館などの連携と併せ、地域に根差し

た運営に、新たな可能性を見出すことができました。



昔の印刷機謄写版体験会
写真提供 旧開智学校

「国宝エリア」の進展へ

令和4年に松本城三の丸エリアプラットフォームが設立され、二つの国宝をつなぐプロジェクトが推進されています。旧開智学校もいよいよ本格的にそれに参画します。

独自の取り組みとして、今回好評だった、塔屋・小屋裏の見学会、昔の印刷機鑑写版体験会、ボランティアガイドによる明治時代の授業体験など、各種イベントが検討されています。

国宝が二つ隣接する珍しい
地方都市の「国宝エリア」は、
市民の誇りであり、これから
も注目すべきところです。



旧開智学校
YouTube
見学方法の
ワンポイント
ガイダンス
etc.

わがまち自慢 神林地区

歌声とともに新年祝賀会

朝あしたの霧は 霽はれゆきて

七区しちくの契ちぎり 温きよかく

聖きよき職つとめを
励むなり

「神林の歌」
1 番

「神林の歌」を斉唱する参加者

ことを提唱した藤澤良彦氏の指揮で高らかに歌い、その後神林の発展と住民の幸せを祈念し、万歳三唱して散会しました。

これに先立ち寺家町会では1日10時に寺家公民館で新年会を行いました。23人が参加し、ここでは「二月一日」の歌を最初に歌いました。「松竹立てて、かどごとに」のところは、特に力が入っていたようです。その後、ダルマの目入れを全員で行い、令和7年の安全祈願をし、祝賀会を閉じました。

1月4日神林地区新年祝賀会が、地区役員32人が出席し開催されました。

藤牧一嘉町会連合会長、

上條温町会連合
会相談役、塩原

秀俊農業委員の
祝辞の後、恒例

になった「神林の歌」(前出の詞)を斉唱しました。

みんなで歌う



ダルマの目入れ

みんなで歌える地区の歌、いいですよ。

未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

第40回松本市公民館研究集会 令和6年度地域づくり市民活動研究集会

●期日 2月16日(日) ●会場 松本市中央公民館(Mウイング)ほか

日 程	9:00 受付	9:30～9:45 開会式	9:45～11:50 全体会・パネルディスカッション	11:50～13:00 昼食	13:00～16:30 分科会
-----	------------	------------------	-------------------------------	-------------------	--------------------

内 容

■全体会・パネルディスカッション

「地域が動き出す」～自治を紡ぐ語り合いの実践から～

モデレーター

松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授 向井 健 氏

パネリスト

元松本市社会福祉協議会四賀地区センター課長

島内島高松町会長、島高松未来づくり検討会会長

大野川小中学校コミュニティ・スクールコーディネーター

山岸 勝子 氏

高山 拓郎 氏

相馬 路子 氏



向井 健 氏



▲
ホームページ
はこちら

■分科会

	分野	テーマ
第1分科会	地域防災	いざって時、どう動く?～地域で取組むお互い様の防災対策と行政との協働～
第2分科会	子ども・若者	地域は子育て応援団～地域にある子どもの居場所を知ろう～
第3分科会	共生社会	共生社会～違いを力に、共に生きる未来へ～
第4分科会	高齢者	みんなが「集う」場所をつくるには?
第5分科会	地域資源	身近な資源を活用した地域づくり
第6分科会	町会	町会のシンカ

※ 全体会・分科会のどちらかのみ参加も可能です。

※ 集会の様子は、後日編集後YouTubeにて配信予定です。

【主催】松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

【主管】未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会

参加申込方法

2月7日(金)までに、必要事項(氏名/住所/電話番号/参加を希望する分科会/手話通訳・要約筆記・保育の要否)を専用フォーム(LoGoフォーム)または最寄りの地区公民館・集会事務局(中央公民館)へ電子メール、電話、FAX、窓口でお申し込みください。

事務局

松本市教育委員会 生涯学習課・中央公民館(Mウイング南棟2階)

〒390-0811 松本市中央1丁目18-1 TEL 0263-32-1132/FAX 0263-37-1153

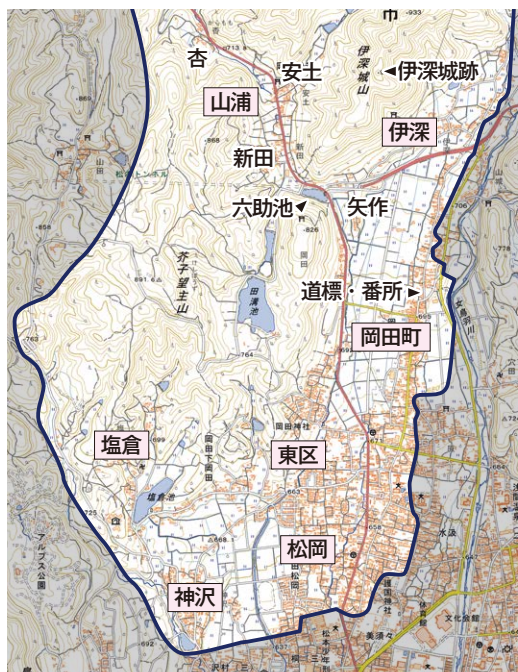
E-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp

申込専用
フォーム



公民館報まつもと 2024年11月30日号の記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

5面「まつもと今昔」下段1行目 (誤) 東急3000形 (正) 京王3000形



境界線はおおよそです。正確ではありません。
出典：国土地理院（地理院地図を加工して作成）

平安時代前期は、井更八幡宮（伊深神社）の「井更」が起源で、「前堂田川の奥深い側」の意味です。その後、深い井戸の意味の「井深」とな

伊深町会

平安時代の承和8（841）年の大地震までは、新しく開かれた田の意味の「於加田」でした。大地震以後、地区内を流れていた前堂田川（女鳥羽川）が、現在に近い流れに移動したため、水の確保が難しくなり、「岡田」に変化しました。

山浦町会

伊深の西側は「山裏」と呼ばれていたことから「山浦」となりました。小字に杏・安土・新田・矢作があります。杏は唐桃が語源で、アンズの種類から漢方薬を取る目的で栽培されたことによります。新田は江戸時代に開拓された田畑であることが由来です。

岡田とは丘にある田の意味

岡田地区

再発見!! まつもと地名がたり 9



街道分岐点の道標

江戸時代初期、幕府の命により善光寺街道が設置された時に、近隣の村々から人家が集められて、宿場町の家並みが作られ、岡田宿となり、「岡田町」につながっています。岡田宿は江戸海（街）道と善光寺街道の分岐点であり、宿場の北に行人の監視を行う番所が設置されていました。また、奈良・平安時代にさかのぼると、岡田の西山地帯から豊科の大沢まで続く一帯は、須恵器などを生産する一大窯業産地でした。

岡田町町会



学生スケート大会発祥の地でもある六助池

矢作には水不足に備えた、六助池があります。

松本平の野鳥たち



ヨシガモ（2017年1月松本市島内奈良井川 写真提供：信州野鳥の会）

日本では冬鳥。全国で記録されていて、県内では湖沼、河川などに生息する。ナポレオンハット（ナポレオンの帽子に例えられる独特な形の冠羽）を持つ。オスはこの冠羽の光沢ある緑色と、長くカーブした翼の付け根の羽が良く目立つ。以前、松本城の堀でも見かけることのできたカモ。

まつもと散歩

ささやかな一つひとつを
ていねいに重ねて
大きな幸せにしましょ♪



（撮影：2025.1.2 四柱神社）